

はばたけ



Vol.90
2011年12月29日発行

栃木障害者の自立をめざす会 《会員数 現在231名》

【事務局】 社会福祉法人 なすびの里 TEL 0282(29)6111 発行者 中山 全央

自立の会

「クリスマス会二〇一一」開催

ゆうの家事業所
前原 隆司

新年明けましておめでとうございます。本年も自立をめざす会の活動とゆうの家事業所の活動に邁進していききたいと思えます。

さて、昨年のご報告となりますが、自立の会恒例である「クリスマス会」が栃木市社会福祉協議会歳末たすけあい補助事業のご支援を受け、十二月十七日（土）栃木市国府地区公民館にて、自立の会会員七名、施設利用者・職員七十六名、栃木特別支援学校三名（保護者含）、なすびの里家族会十四名、障がい者の一人暮らしを考える会一名の計百一名で開催されました。

今年も「団体の交流」をコンセプトに昨年同様、自立の会となすびの里、そして新たに今年度発足したなすびの里家族会・障がい者の一人暮らしを考える会を加えた四団体を中心とし、会場は参加者が百人規模になりなすびの里では窮屈になってしまった、という昨年の反省を踏まえ国府地区公民館での実施となりました。

クリスマス会は中山会長の挨拶から始まり、家族会会長の三室さんの挨拶とクリスマス会を楽しむためトナカイとサンタのかぶり物のプレゼント、午前の部のステージではなすびの里利用者企画のステージ出し物前半が行われました。お楽しみの豪華食事はなすび食堂のオードブルから始まり家族会のフルーツポンチ、自立の会からは特

製のけんちんうどん、ケーキが振る舞われました。午後の部は、利用者のステージ出し物から再開し、なすびの里でもお世話になっているエレクトーンの強口先生をお招きし、クリスマス音楽を中心に、ディズニークラシックなどで盛り上げていただきました。また自立の会の出し物として団体交流記念の二人羽織大会が行われました。自立の会・なすびの里ペアは中山会長と渡部施設長、家族会・一人暮らしを考える会ペアは薄田さんと川俣会長が熱々の特製激辛けんちんうどんを息ピツタリ？に食べている姿で会場は大盛り上がり。

そして最後にお待ちかねのプレゼント大会です。今年も毎年お世話になっている社会福祉協議会の歳末助け合い補助事業をはじめ、下都賀労働組合、家族会、仲間自治会、施設等、多くの方々の補助やカンパにより多くのプレゼント用意する事が出来、大盛り上がり内容となりました。

今回はなすびの里そして新たに家族会との合同企画としてクリスマス会を実施し、昨年以上に「交流」が図れたのではないかと思います。

また、今年も栃木特別支援学校生やなすびの里の日中一時事業を利用されている方達にも参加いただいて、自立の会の取り組みを一部ではあると思いますが知っていただく事ができたのではないかと思います。

来年も今年以上に？とも思いますが出来る事を着実に実行していきたいと思えます。最後に、今回自立の会クリスマス会に御

協力いただいた全ての方達(ご寄付、補助、当日のスタッフの方達)に感謝を申し上げます。たいと思います。ありがとうございます。



社会福祉法人なすびの里 法人設立10周年記念行事 「はばたけコンサート2011」開催

ゆうの家事業所
前原 隆司

平成二十三年十月十七日(月)、栃木市文化会館大ホールにて「はばたけコンサート2011」が開催されました。

この「はばたけコンサート2011」は、社会福祉法人なすびの里法人設立十周年の記念行事として行われ、施設・家族会・後援会(自立の会)を中心とした実行委員会で企画・実施されました。

「はばたけコンサート」と聞いて、馴染み深い会員の方は大勢いると思いますが、このコンサート名に至った経緯としては、実行委員会会長である、なすびの里理事長殿塚治氏(旧自立の会役員)の提案により、十数年から法人設立のための資金活動として開催してきた「はばたけコンサート」という名前を使う事で、法人設立活動や設立当時を回顧し、また新たな出発としたい、との思いから今回のコンサート名となりました。

コンサートの内容は、老若男女誰にでも分かりやすく、もちろんなすびの仲間達にもわかりやすく、それでいて元気が出るような内容は何か?と考え、今、海外でも人気のある「いっこく堂」と笑いも含んだわかりやすい手品の「マギー審司」となりまし

た（もちろん収益事業となりますので人気のある方達となりますが…）

さて、実行委員会の会議を重ね、いよいよコンサート当日です。

会場は栃木市文化会館の大ホールです。で集客は一二〇〇人ほど。チケットはS席A席ともに完売で、B席が少し余る程度、午後六時から会場でしたが五時半にはすでに列が出来ているほどでした。六時半を迎え開演です。

まず最初はマギー審司さんの手品です。マギー審司さんが登場すると会場は一気に盛り上がり笑いの渦に巻き込まれました。サービス精神満点のマギーさんは客席までおりてお客と触れあってくれました。休憩時間には抽選会が行われ、施設商品セットやイチゴ・なすび食堂食事券などが抽選で当たりました。そして最後は海外でも活躍するいくつかの堂さんです。まさに名人芸の一言、会場を沸かしていました。特に腹話術での物マネはすごく、どこから声が出ているのだろう、と関心するばかりでした。

法人の十周年という節目に、記念行事としてコンサートを成功させる目標もありましたが、この機会に施設・家族会・後援会という法人を支えていく団体が協力して取り組めた事にも意味があったのかと思います。今回の取り組みが法人の新たな門出になれば…と思います。

でっかく
なっちゃった！



誰に当るかな？
ワクワク！！

設立十周年記念式典が行われました。第一部の式典では、自立をめざす会は法人に貢献した団体として表彰を受けました。副会長の薄田さんに会員代表で受け取っていただきました。

第二部の講演会では自身が障がい者である大貫学人氏に講演をしていただきました。「自分を信じ 自分に負けない」という演題のもと、事故にあったこと、辛かった入院生活、二十四時間テレビのトライアスロンの出場、障がい者になつてからの海外旅行など、『笑い』あり、『涙』ありであつたという間に時間が過ぎてしまいました。まだまだたくさんのお話を伺いたかったです。

講演を聴かれた方それぞれが、いろいろな印象を持たれたかと思いますが、私が一番印象に残っていることは『最大のライバルは自分自身』だということです。自分に負けない力を努力して付けていきたいと思いました。

「法人創立十周年記念式典」開催

ゆうの家事業所
高瀬 茜

平成二十三年十月二十二日（土）、国府地区
公民館にて社会福祉法人なすびの里の法人



★会員紹介★

「後援」の意味するもの

星 健二

二〇〇三年第十七回定期総会において、自立の会は会則に「社会福祉法人なすびの里事業全般の後援」という項目を活動の中に追加し、会則の改正を決議しました。どうして法人の後援団体であることを会則の改正を行ってまで内外に表明し、その位置づけをアピールしなければならなかったのか。また、後援の意味するものは何なのか。

一九八七年、障害者の村づくりを最終目的として設立した自立の会は、一九九七年臨時総会にて「なすびの里アピール」を決議し法人設立・施設建設への第一歩を踏み出しました。その後、施設建設委員会（後に法人設立準備会に名称変更）を立ち上げ、三年の月日を経て法人理事予定者による設立発起人会に引き継ぎました。この間自立の会は、資金準備のため多くの収益活動をこなし、また会員の拡大を含めた運動の拡大を進めながら、一方では法人認可、施設建設に係わる膨大な事務処理を担ってきました。多くの会員の方々の情熱と努力が実を結び、二〇〇一年八月に法人認可（法人登記後二二〇〇万円の寄付を実行）、翌年四月には施設開所となったのです。文字通り自立の会は法人の生みの親であると言っても過言ではないでしょう。その後施設開所により、多くの新しい職員と利用者およびその保護者の方々を迎えることとなりましたが、当時忙しさや開所にこぎつけた安堵感から、自立の会と法人とのか

かわりやその歴史的背景を丁寧に説明することを怠り、自立の会への理解が進まないままに施設の運営がスタートしてしまいました。相互理解が不足する中、やがて自立の会に対するよくわからないという思いは、不信感という思いに形を変え、理事会においてまで自立の会の位置づけを明確にするよう意見が出るに至りました。そんな背景の中、開所翌年の二〇〇三年会則に後援団体としての位置づけを追加したわけです。

本題の「後援」の意味するものについて当事者であった私の考えを述べさせてください。先にも述べたように、親である自立の会は法人を私物化することも逆に放棄することも許されない立場にあると思います。生みの親として、会員自らが自覚と責任を持つて法人との関係を構築していくことが大切であると考えます。法人に困難な状況があるときは全力で支援し、また短期的な課題はもとより今後の運営や将来行うべき事業などさまざまな点について積極的かつ主体的に提言していくことが、私たちの考える「後援」ではないでしょうか。法人に対して建設的な提言をしていくことは、自立の会に許された特権といった性格のものではなくむしろ責務であると考えます。

さて、自立の会設立時に掲げた最終目的は今、どの程度達成されたのでしょうか。登山でたとえるなら私たちは今、いったい何合目にいるのでしょうか。私にはよくわかりませんが、少なくとも頂上には立っていないでしょう。もしかしたらまだ頂上が見えないあたりかも知れません。大切なのは、今いったいどこにいるのかということより、少しずつ

も一歩ずつでも前へ進んでいくことではないでしょうか。できることなら、一人でも多くの人と励まし合いながら！



☆新会員紹介☆

私は新入会員の小池優也と申します。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

簡単に皆様に私のプロフィールをお伝えさせていただきます。

■出身地…埼玉県旧大宮市

■趣味…海外旅行

これまで、ベトナム、バングラデシュ、スペイン、アメリカ等に行きました。

その中でも印象に残ったバングラデシュでの思い出を少しご紹介します。

バングラデシュについては、皆様ご存知のように、まだまだとても貧しい国であります。マイクロファイナンスという貧困層向けの融資システムを世界に広げたグラミン銀行が有名です。

私は、実際にどの様に融資がされていて、回収はどの様に行われているのか、また借り手である女性はどの様な、思いを持っているのかなどを確認に現地を回りました。

マイクロファイナンスとは

貧困状態にあり、商業銀行から融資を受けられない人々を対象とする無担保で小規模の貸付、貯蓄、送金、保険などの金融サービス。貧困層の生活を大幅に改善させる可能性を秘めており、発展途上国で生まれた画期的な仕組み。貧窮のどん底にある人々（ほとんどは女性）が個人事業に従事し、収入を得て、貧困を脱する事を可能にさせ、成功を収めています。

これまで貧困削減というと慈善や、公的セクターが行う分野と考えられてきましたがマイクロファイナンス機関へ資金を供給する事により、貧困削減を目指す事ができる事を学んで参りました。

私的利益と社会的利益の両立する事は可能であると考えております。マイクロファイナンスは、ビジネスの手法を使って貧困削減という社会的課題に取り組みが、それは儲かるからという事だけで参入する分野ではないです。

逆に社会的に意義があれば利益は上がらなくてもよいかという点では長続きしない、そのバランスをとっていく事が重要である事を認識してきました。

皆様、どうぞよろしくお願い致します。



お知らせ

きょうされん冬物販のご報告

きょうされん冬物販のご協力ありがとうございました。会員の皆様の御協力もあり、なんと！！自立の会目標である20万円を達成する事が出来ました。ありがとうございます。

今後、ご協力のほど宜しくお願い致します。

自立の会売上

207,830円 (達成率103%)

全体売上

737,665円 (季節の味便りは含まず)

※物販の収益は全てなすびの里利用者自治会旅行に充てられます。また、収益の一部を東北震災の義援金とさせていただきます。

きょうされん

バレンタイン物販のお知らせ

日頃お世話になっている人に、思いを届けたいあの人に…そんなあなたの気持ちに答えてくれる商品が沢山あります…♪

是非、ご活用下さい。

締め切り日：1月13日(金)

※ カatalog・注文用紙は、はばだけにお同封されています。

自立の会恒例

「妙唱寺大黒天」出店します！！

自立の会が長年お世話になっている妙唱寺の大黒天に来年も出店します。

会場：妙唱寺

日時：平成24年 1月 21日(土)・22(日)

AM10:00~PM4:00

内容：うどん・そば(トッピングあり)

なすびの里

とちおとめ販売開始！！

12月上旬頃より販売を開始しました。仲間が一つ一つ丁寧に育てました。この機会にぜひご賞味下さい。お求めやすいお値段になっていますよ♪

1パック 500円

1箱(4パック入り) 2000円

栃木障害者の自立をめざす会

活動報告

11月12日(土) 役員会

12月10日(土) 役員会

12月17日(土) クリスマス会



たくさんのご協力をありがとうございました！！

編集後記

朝晩が冷え込み、ようやく冬らしくなったように感じます。寒いことは嫌ですが、それでもやっぱり今しかできない初詣や初日の出に出かけたくくなります。昨年は法人設立10周年ということもあり、毎日がとても忙しく過ぎていったように感じます。今年も充実した年になるようにしたいと思います。本年も宜しくお願いいたします。

高瀬